

部材にあわせて、現場に即して

～ パイプソー編 ～

1980年代、当時ガス管の更生方法で反転工法が脚光を浴びていた。管内面にホースを接着し補強する工法である。補強した管切断はバイト式やカッター替刃式では不可能なため現場は苦慮していた。地中深くに埋設され、水道管が併設された狭隘部でのガス管切断作業。パイプソー200はこの条件下での開発スタートとなった。当初、試作機を用い、四谷交差点で夜中交通を遮断し、600Aのガス管を数時間かけて切断したことがあった。このことは切断に手こずっていた現場で評判になり、パイプソーは好評を博した。

もう一つは、あるガス会社でのデモ切断。切断時パイプ内の残ガスに引火しないか、ガスを充満させた切断実験があった。作業者はアサダの開発者。パイプが切断され始めると周辺は、残ガスが放出されガス臭がしてきた。ガス会社担当者は一斉にその場を離れたが、アサダの開発者は無事切断作業を完了させた。その後パイプソーは大口径切断可能モデルや特殊用途のエアモーター搭載機へとシリーズの進化を遂げた。

RECIPROCATING SAW



80周年ご愛顧キャンペーン対象製品

パイプソー 200SP

1/2~8"



コードNo. 標準価格
PS200SP 79,000円

パイプソー 380SP

2~14"



コードNo. 標準価格
パイメタル PS380SP 298,000円
グリットソー PS381SP 298,000円

パイプソー 300

2~12"

フレキワイヤ



コードNo. 標準価格
58003 646,000円

パイプソー 350

2~14"

フレキワイヤ



コードNo. 標準価格
58013 672,000円

パイプソー 400SA

2~16"

エアモータ



コードNo. 標準価格
PS400SA 480,000円

お求めは下記の代理店へ...

Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店 / 東京・名古屋・大阪	海外事業所	工場	公式SNS
営業所 / 札幌・仙台 さいたま・横浜 広島・福岡	タイ (バンコク) 台湾 (台北) ベトナム (ホーチミン) インド (ムンバイ) 中国 (上海) アメリカ (オレゴン州)	愛知県 (犬山市) 三重県 (松阪市) タイ (バンコク)	

www.asada.co.jp

※このカタログの記載内容は2021年3月現在のものです。改良により予告なく仕様変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。カタログの価格には消費税は含まれておりません。カタログに掲載されている文章、写真、イラストの無断転載、複写、引用等はお断りします。

20210507



Asada

80周年 ~アサダ製品開発の軌跡~ ご愛顧キャンペーン

【アサダ株式会社は、おかげさまで創立80周年】

皆様のご愛顧・ご支援に感謝し、**80周年ご愛顧キャンペーンを開催**します。

あわせて80年の製品開発の歩みをご紹介します。

今後も創意工夫と勤勉さを発揮し、皆様に喜ばれる製品開発に努めます。

創業時、アサダの前身である東海鉄工所の定款にはこんな文言が記されている。「諸機械の製作販売と修理」この言葉の中には、どんな機械でも作ってみせるという自信とこだわりにあふれていた。



アサダ HP



「80周年ご愛顧キャンペーン対象製品」は 各ページに記載!!

先着 500 名様 QUO カード 3,000 円プレゼント

賞品	QUO カード 3,000 円
応募方法	対象製品に添付してある、 キャンペーン専用紙 に必要事項をご記入の上、ご応募下さい。
セール期間	2021年7月1日(木) ~ 9月30日(木)
応募締切	2021年10月31日(日)
発表	賞品に関しましては、ご記載された住所に 弊社担当者がお届け 、もしくは 郵送 させていただきます。尚、受付予定数に達した時点で受付終了となります。予めご容赦下さいますようお願い申し上げます。
お問合せ先	アサダ株式会社 営業本部 TEL 052-911-7165



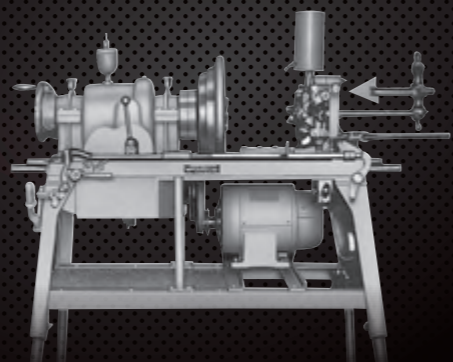
国産第一号機 電動式パイプねじ切り機

～ ねじ切機編 ～

1953年、国産初の電動式パイプねじ切り機「パイセット第一号機」が誕生した。幾何学的な部品構成で、贅肉を削ぎ落した機械である。

当時製品化に1年半の歳月を費やした。パイプ1本のねじ切りを行うのに職人が全力を注いでも10分から15分必要とした作業を、僅か1分で成し遂げる画期的な機械として誕生した。パイセットのブランド名で多くのユーザーから拍手喝采を浴び、日本のねじ切り機発展の礎になった。

この現存する「パイセット」は、初代社長浅田末吉氏が誰の手を借りることもなく、中古機をきたるべき将来を見据えて丁寧に丁寧に整備された至宝の逸品である。今はアサダ所有の展示品を残すだけとなったが、重厚な鋼板フレーム構造、パワフルな誘導電動機搭載、工夫をこらしたミッション構造、ベビーリード駒を使用した刃物ヘッド、サドルの進行制御など、長い時間が経過しても色褪せることなく、開発者の心を駆り立てるものが随所にある。それらは脈々と息づいており今でもその息吹を感じることができる。これが正にアサダの技術伝承に繋がっている。



THREADING MACHINE



可搬式鋸盤の先鞭を切る

～ バンドソー編 ～

アサダは過去に市場の評判を調査するため、開発試作品を販売して情報を得ていた時期があった。無償販売では真実の声が聴けない。有償販売で真実の声を聴く。その時の機械がアサダ犬山工場に残っている。

バンドソー B120 が発売される前年に、モニター販売として、犬山工場近くの水道工事業者に販売した機械である。この機械はそのまま使用され続け、2018年12月にアサダが買い戻すまでの38年間、現役で稼働し続けていた。買い戻す時、ユーザーから『現役で使用しているので、引き上げられたら困る』と言われ、最新モデルを代替機とした。バンドソーの出現は、アサダがねじ切り機専業から配管機械工具メーカーへと大きな舵切をした時期であった。バンドソー誕生の経緯は、通商産業省が行う研究助成金を得てスタートし、約1年半は切断面精度向上に関する研究で費やした。1980年10月研究発表を経て、販売用モデルが完成し1981年4月に発売された。

当時鋸盤は大型で据付式が主流であり、可搬式のバンドソーは無かった。現場移動が簡単で、安価であり切断精度の良いバンドソーが瞬間に市場を席卷したのは言うまでもない。1年を待たず後発メーカーが市場に雪崩を打って参入してきた。その原型モデルになったのがこの「バンドソー B120」である。正にファーストワンのマシンである。



PORTABLE BAND SAW



80周年ご愛顧キャンペーン対象製品

ビーバー 25

1"



コードNo.	標準価格
25	BE25B 224,000円
25 (丸のこ仕様)	BE25M 316,000円
25 (SUS 管仕様)	B25B1 270,000円

ビーバー 50

2"



コードNo.	標準価格
50AT	BE5AT 377,000円
50AT II	BE5AA 436,000円
50AT II (丸のこ仕様)	BE5AM 530,000円
50AT II (SUS 管仕様)	B5AA3 489,000円

ビーバー 80

3"



コードNo.	標準価格
80AT	BE8AT 480,000円
80AT II	BE8AA 542,000円
80AT II (丸のこ仕様)	BE8AM 636,000円
80AT II (SUS 管仕様)	B8AA3 618,000円

ビーバー 100

4"



コードNo.	標準価格
100AT II	BE1AA 907,000円
100AT II (丸のこ仕様)	BE1AM 998,000円
100AT II (SUS 管仕様)	B1AA3 988,000円

バンドソー ビーバー 4・4F

4"



コードNo.	標準価格
チェンバイス	BB400 146,000円
平バイス	BB40F 155,000円

バンドソー ビーバー 6・6F

6"



コードNo.	標準価格
チェンバイス	BB003 186,000円
平バイス	BB103 215,000円

バンドソー ビーバー 8・8F

8"



コードNo.	標準価格
チェンバイス	BB800 297,000円
平バイス	BB80F 362,000円

バンドソー ビーバー 10

10"



コードNo.	標準価格
チェンバイス	BB1000 368,000円

バンドソー 32F

12"



コードNo.	標準価格
平バイス	BS324 1,040,000円



80周年ご愛顧キャンペーン対象製品